



# 赤嶺ヶ丘

6月号 平成28年6月14日(火)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利1924番地 TEL 0997-63-8114



雑草の生命力・・・。自分も雑草のようにたくましくいきたいと日々思う幸田

## 学力向上を目指して

笠利中学校 校長 曾木 興英

いよいよ地区中体連総体を迎えます。日頃の練習の成果を発揮し、悔いのない大会にできるよう全力でプレーし、笠利中の文武両道の歴史をさらに築いてくれることを心から期待しています。

さて、今回はスポーツと学習の両立を期待して、学力向上を目指して取り組んでほしいことを少々述べたいと思います。小さい子どもを観察すると一目瞭然ですが、人間は、本来知的なものに興味を持ち、未知のものを何とか理解し、それを活用して生活に生かしたい等の欲求を誰もが持っています。やらされているという意識・学習から脱皮することが、学力を向上させる第一歩です。授業を楽しくするために家庭でも復習をする、分からないことを深刻に考えないで、気軽に先生や友達、保護者に質問をすることを自然な気持ちでできるようになるといいですね。分からないことは、けっして恥ずかしいことではありません。何が分かり、何が分からないかをはっきりさせることが大切です。家庭で一人学習をしていると、分からない箇所がしっかり自覚できます。そこを赤線などでマークし、次の授業で先生に質問したりして解決できたときは、学習の楽しさが倍増するでしょう。

学力向上の基本は、いろいろありますが、小学校の学習をマスターしていること、漢字の学習を積極的に行い本がすらすら読め、内容がだいたい理解できること等です。日頃から、言葉の意味や定義等をしっかり覚える習慣、初めて出てくる言葉はしっかり辞書で調べる習慣等とても大切です。問題等もあまり難しいものでなく、簡単な基礎的な問題や教科書の例題を中心に解く等自分の方法を早く見つける、一日(90分)は必ず机に向かうことを習慣化することです。また、日頃の会話の中で「なぜ」を意識し、生活することも大切です。読書・新聞等のメディアで疑問に思ったことや自分の考えと違うことに意識的に興味を持つこと、そうすることによって物事を深く考えることができるようになり世界の広さや自然のすばらしさ、命の尊さ、人生のすばらしさ、人間の崇高さ等様々なことを多面的に意識できるようになると思います。中学時代は自分の世界をつくる、つまり個性、性格が確立されるととても大切な時期です。学習を通して知ること、理解することがあらゆる世界への興味・関心を広げます。そして、さらに自己の内面を深くし、感受性を深め豊かな人格の完成を目指すためには、様々な分野の読書が必要不可欠です。例えば、読書を通して歴史上の大人物と出会い、当時の時代に間接的にタイムスリップして学び、語り、考えることができます。「賢者は歴史から学ぶ」とう格言もあります。学校・生徒・保護者が3者連携プレイしてさらなる学力の向上を目指したいものです。

### 豊かな学力向上を目指して今自分にできること

- ①一日90分以上机に向かう。(漢字・数学の四則演算などを継続する。)
- ②睡眠と朝食を確実にしっかり取り、集中して授業を受ける。
- ③部活動などで体力・持久力を身に付け、授業の集中力を養う。
- ④一日20分間必ず読書し、豊かな感性を養い、生きる力を育てる。
- ⑤疑問点や不思議に思うことなどを積極的に調べたり、教師に発問する。

## ～ハブ咬傷対策・心臓マッサージ・アレルギー対策法の研修を行いました～

6月7日に、笠利分署から講師を招き、心臓マッサージの講習やハブに噛まれた時の対処法について研修を行いました。本年度になってからも学校裏門でハブが出没しています。ハブに噛まれないように、各個人で気を付けるようにしましょう。また、アレルギーについて自分自身で対策をしっかりとるようにしましょう。



## 1年生 集団宿泊学習 (5月10日～5月12日)

5月10日から二泊三日、奄美少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。野外炊さんやモトクロスバイク、ドミノ倒し、など普段の学校生活ではなかなかできない体験活動をとおして、多くのことを学んだ一年生。7名と少ない人数ですが、仲間の絆も一層深まり今後の学校生活・家庭生活に生かされていくことでしょう。研修態度やあいさつも大変良く、施設の方々からもお褒めの言葉をいただきました。本当に良く頑張りました。



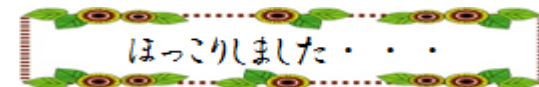
## 国際交流会 (5月27日)

5月24日、国際交流会を行いました。奄美市の姉妹都市であるナカドウチェス市から国際交流で訪れた8名の生徒と引率の先生が本校を訪れてくれました。日本文化の紹介としてソーラン節を見てもらったり、ALL 英語での交流会を行ったりしました。生徒たちは「自分たちの英語が伝わってとてもうれしかった」「涙を流して動いている人もいたと聞いて、やってよかった」と感想を述べていました。大変貴重な体験になりました。



## 校外学習 (5月25日)

5月28日には、奄美博物館、黒潮の森マングローブパークを訪問し、自分自身が今いる郷土について考える機会になりました。笠利(土盛)の海岸では世界的にも稀なスロンボロライト(微生物岩)が発見されました。太平洋北部では初の発見で、世界的にも貴重なものです。世界自然遺産登録を目指している奄美大島。これからも、郷土を大切に、自然を大切に、郷土のことをたくさん学んでいってほしいと思います。



去る5月28日、本校バレー部は県下バレーボール大会に出場するために鹿児島市内に宿泊していました。宿舎は温泉施設も併設しており、玄関には笠利中学校のバレー部が宿泊する旨の案内板があったそうです。笠利中学校を卒業され、鹿児島市内に移住された御夫婦。たまたまその案内板に目が留まり、子どもたちに声をかけてくださり後輩の頑張りを目を潤ませながら励ましのお言葉を述べられたそうです。故郷とは何年経っても色あせるものではなく、いつでも心の中で繋がっているものなのだと、その話を聞いたときに心が温かくなりました。

いよいよ地区総体・県総体が迫ってきました。野球部にもバレー部にも水泳を頑張っている佳代さんにも背中のは後ろにはたくさんの応援してくださっている方々がついています。緊張することなく、胸を張って堂々と戦ってきてほしいと思います。

## 7月の主な行事

7	1金	学校自由参観週間(~8日)	7	9土	土曜授業・PTA・球技大会・懇親会	7	16土	青少年健全育成の日
	1金	期末テスト3日目		12火	全体ネリヤ・学級ネリヤ		17日	市民清掃の日・家庭の日
	4月	性に関する教育3年		14木	地域生徒会		20水	終業式・職員会議
	8金	性に関する教育2年		15金	性に関する教育		26火	県総体(水泳・野球・バレー)